

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会 (メールボックス)
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



- ◆ 目次 ◆
- 活動報告
- お知らせ

♪ホームページ折々に更新中!
「箕面ユネスコ協会」
で検索してください♡

●東日本大震災復興支援イベント「3.11 忘れない」に協働しました

2019年3月10日(日曜日)

みのおキューズモール内の「みのお市民活動センター」で、東日本大震災復興支援イベント「3.11 忘れない」が開催されました。復興を願って市民活動フォーラムみのお主催で行われるイベントです。箕面ユネスコは物産展のほか、真備へのボランティア活動に参加して下さっているアサンプション国際高校生の声をインタビューの形で市民のみなさんに届けることができました。



タッキー816みのおエフエム みのだんラジオ「みのお・コレ一番!」でも紹介

●箕面市立豊川北小学校 5年生●
～出会って 学ぼう！～



昨年 10 月より、総合学習「出会って学ぼう！」で豊川北小学校 5 年生のみなさんと共に学んできました。2 月には、その総まとめとして、カンボジアからのメッセージを子どもたちに伝えることができました。



子どもたちが作成した寄せ書きやうちわをリエンダイ村（アンコールワットで有名なシェムリアップ州）の寺子屋に届けて下さったのは、日本ユネスコ協会連盟事務局の木村さんです。

「…みなさんからの贈り物を寺子屋の子どもたちが明るい表情で喜んで受け取っていました…動画や写真でご覧ください…」という木村さんからのメッセージに続き、カンボジアのみなさんが笑顔いっぱい贈り物を手にしている様子を見た子どもたちから、わーっ！という歓声と拍手が沸き起こりました。



♪うちわは、「なかよし」「夢」「希望」など、温かい意味が込められた漢字や日本らしいイラストで飾られていました



♪寄せ書きは、子どもたちが調べたクメール語でのあいさつや、折り紙、かわいいイラストなどで飾られていました

最後に、全員が交流する形で感想を聞き合いました。



♪世界編の学習をして、いちばん心に残ったことは何ですか？

- ・川本さんと坂口さんのお話が心に残りました。なぜなら、学んでいることは当たり前ではないと分かったからです。世界の子どもたちは、いろんな教科を学んでいることも分かりました。
- ・わたしは、うちわづくりが心に残りました。カンボジアの学校に届けてもらえたと、みんなで協力して作ったことが嬉しかったからです。

♪将来 世界で自分の力を役立てるとしたら、何をしてみたいですか？

- ・世界の人たちに勉強を教えることをしてみたいです。カンボジアじゃなくても世界の子どもたちが困っているかもしれないので、勉強を教えているいろんなことを学んでもらいたいです。
- ・わたしは、寺子屋を増やす活動をしてみたいです。学校に行けていない人がまだまだたくさんいることが分かったので、もっとたくさん学校や寺子屋に行ける人を増やしたいからです。



5 年生のみなさん、先生方、ありがとうございました。

(大濱 淳子)

●世界寺子屋運動 箕面ユネスコ版 -9-

3年ぶりにタイ・ミンブリー



広場の整地から始め、マンゴーの木んできた広場です。今は遊具が揃うの光景は6度目の訪問でも何も変約束より少し早めに着いた広場に、ました。素足でサッカーを興じたり、どもたちで賑やかになり、4人組のンスを始めました。嘉伸さんが現れ鉛筆プレゼントが始まりました。

大阪から持ってきた学用品は、嘉伸さんがフィリピンで訪問した学校で、想像を超える250名もの子どもたちに配布したため、タイ現地で揃えたものになりました。笑顔でお礼の手を合わせ、大事そうに受け取っていきます。写真撮影をお願いした友人は、その光景に涙が流れ、止まらなかったそうです。プレゼントが終わり、運河沿いに歩いていると5~6名の青年と出会いました。思春期を少し通り過ぎたこの青年たちも、懐かしそうに嘉伸さんに声をかけてきます。嘉伸さんいろいろな事情で、タイの次回訪問がいつになるか分からないということで、最後のつもりで広場に花壇をつくり、花を植えて私たちから3日後にタイを離れるそうです。



を植え、野菜づくりなどに取り組むほどに整備されていますが、集落わっていないように見えました。三々五々子どもたちが集まってき何やらおしゃべりをしたりする子女の子がこぼれる笑顔でポップダると「おとっ」と、囲みが出来、



(岡 修)

●ゆるやかにつながるネットワーク！ネパールスタディーツアーに参加して

「リシエール」の第3回スタディーツアー 平成31年3月21日~29日



いに伝えてもらう場の設定を箕面ユネスコが行います。

高校生や大学生と一緒に参加しました。ネパールまで30時間余り、カトマンズから車で6時間ほどのパンチェット村でホームステイし、生活する。

~伝えなかつたらもったいない~

村での体験やそれぞれ感じたことを日本に帰って伝える事…これから小学校や地域、いろいろな場でチャンスをもらい、特に高校生には大





昨年のスタティツアーで課題とした村の道の補修を行いました

村の人たちと高校生や大学生が協力して、道路に階段を作りました。ネパールのパンチェット村は過疎化が進んでいます。若者や40歳台ぐらいまでの男性はカトマンズや海外へ出稼ぎに出て、村に残るのは女性と子どもと高齢者。村へ元気を、そして自分たちも元気をもらいました。



ネパール「学校訪問！」

パンチェット村からカトマンズに戻る途中でピンゴティ村にある学校を訪問しました。日本のことを知ってもらう授業を大学生、高校生がしました。この日は村の家に宿泊。 (坂口 一美)



●第5回 岡山県倉敷市真備町でのボランティアツアーを実施しました



3月16日西日本豪雨で被害、岡山県真備地区へのボランティア活動を実施しました。継続的なボランティア活動を行う予定です。参加を検討される方は下記アドレスに連絡ください。

ボランティア活動の情報提供を希望される方は箕面ユネスコ協会ホームページ「箕面ユネスコ協会西日本豪雨災害ボランティア」への登録をお願いします。

参加申し込み E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp

Fax 072-728-3544



箕面ユネスコ協会からのお知らせ！

箕面ユネスコ協会 総会のご案内 5月19日(日)午前10時~12時30分
菅野小学校視聴覚室で2019年度総会を開催します。是非ご出席ください！